

これでいいのか『市民懇談会』！！

今年2月2日（土）・3日（日）に市役所及び市内3箇所で懇談会が開催されました。全議員が出席し、名称も前回の「意見交換会」から「市民懇談会」と改め、多くの市民の参加が期待されましたが、参加者は延べ113人で、減少の歯止めにはなりません。議会が原因と改善点を検証し、今後活かされることを願います。

●市民から寄せられた「感想（声）」

- 「市民懇談会」がどのようにして決まったのか。市民に見えるようにしてほしい。
- 多くの議員が出席しているにも拘わらず、司会が一人で喋りすぎている。議員個人の見解や意見を聞けると期待していたが、昨年と同じ程度で大変残念だった。
- 市政の諸問題に対して議会の見解を示してほしい。
- 議員を選んだのは市民だから、結局市民にも責任があることを自覚しなければ。

●今回の懇談会の「問題点」

- 懇談会は、
第1部 議会改革の進捗状況の報告、
第2部 教育子育て問題、
第3部 市民の意見・質問・要望等
を聞いての自由討議の3部構成で行なわれたが、第1部・第2部のテーマの決定過程が不透明で説明もなかった。
- 全2時間のうち第1部・第2部の説明に大半が費やされ、肝心の第3部は、僅か30分弱しかなく「懇談会」とは名ばかりに思えてしまう。
- 行政抜きで議会からの説明では限界があったのではないか。例えばスーパースクールゾーン構想や幼保一元化についての説明は、市長・教育長の一存で決めたかのよように思わせて市政に対する不信感を募らしかねないものであった。
- 参加者の質問に対し「議会に持ち帰って」との回答が多く、市民を失望させた。
- 例えば「市長の要望書」や「議員の政治倫理条例事件」のような議会自身の問題については説明されず、これら問題から市民の目を逸らそうとしているように見える。

=== 今回の市民懇談会の総合評価 ===

及第点は付け難く、議会と議員の更なる努力を切に望み市民の期待に応えてもらいたいと思います。また同時に、生駒市の魅力あるまちづくりのために多くの市民が積極的に市政に参加し、市民と共に歩む議会であるよう見守っていきたいものです。